

原子力船懇談会報告書

昭和 58 年 11 月

原子力委員会原子力船懇談会

目 次

○ はじめに	1
I 原子力船実用化の見通し及び原子力船研究開発の必要性	3
1. 原子力船実用化の見通し	3
2. 原子力船研究開発の必要性	4
II 原子力船「むつ」の必要性とその役割	5
1. 「むつ」の健全性について	5
2. 「むつ」廃船論について：「むつ」の役割と意義	5
3. 大湊港再母港化論について：関根浜新定係港の建設について...	8
III 原子力船研究開発の進め方	11
1. 研究開発目標	11
2. 研究開発の具体的な進め方	12
(1) 「むつ」の実験・運航計画	12
① 長期計画	12
② 関根浜新定係港での試験再開の手順	13
③ 関根浜新定係港の使い方	14
④ 「むつ」の大湊港での取扱い	15
(2) 船用炉の改良研究等	16
(3) その他の研究開発上の留意事項	16
IV 日本原子力船研究開発事業団の統合	18
1. 背 景	18
2. 統合に当たっての留意事項	18
○ まとめ	21